

第5次総合計画前期基本計画の振り返りについて(概要版)

取組名		10年後に目指したい将来像	振り返りの総括
15	商工業の振興	恵まれた自然環境と整備された都市基盤をはじめ、交通の要衝としての立地的優位性をもつ三田の強みを活かし、多様な人材の育成・活躍支援、地域資源を活かしたイノベーション※の推進、魅力ある拠点機能の充実を図ることで地域経済の好循環が創出され、自律的な経済発展のもと創造性のある「生活・産業都市」が形成されています。	<p>前期計画期間では、創業者希望者への創業に必要な知識を身に着けるための実践創業塾や伴走支援としてのフォローアップ支援を展開、若年層を対象として起業家教育などの機運醸成事業や金融機関と連携した資金調達支援や多様な活動のきっかけづくりとして「つぼみマーケット」等の開催など、地域イノベーションの創出に取り組んだ。また、伴走型事業者支援事業や就職フェア・お仕事セミナーなどにより地域産業の活性化や市内事業所の若手人材の確保に取り組んだ。なお、新たな産業拠点の整備については、産業団地整備における整備手法、候補地なども含め再点検し開発基本構想の策定に向けて市内での協議を進めている。</p> <p>成果指標では、創業した件数、市内民間事業所の従業員数については増加しているものの、市内民間事業所数、製造品出荷額、年間商品販売額については基準年を下回った状態である。これはコロナ禍以降、物価高騰などに伴う消費行動の変化による受注・利用者の減少が要因だと考えられる。後期計画においては、地域イノベーションの創出は継続し、市の成長戦略を推進するためには、一旦事業化推進を保留とした産業用地の整備について、企業誘致により産業振興や経済の活性化を図るため、整備手法、候補地なども含め再点検を行い、産業用地の開発基本構想策定に向けた取り組みが必要である。</p>

市民意識調査の結果		指標等の進捗状況						
重要度	3.85	指標名	基準値 (R2)	方向性	R4	R5	R6	目標R8
重要度 平均からの 偏差	-0.13	1 起業相談等支援を行った者のうち創業した件数(累計)	72件	↑	90件 (R3)	102件 (R4)	117件 (R5)	160件
重要度順位	20/25位	2 市内民営事業所数	2,730事務所 (H28)	↑	2,730事務所 (H28)	2,651事業所 (R3)	2,651事業所 (R3)	3,000事務所
満足度	2.87	3 製造品出荷額等(4人以上の事業所)	5,993億円 (R元)	↑	5,351億円 (R2)	5,351億円 (R2)	5,351億円 (R2)	7,200億円
満足度 平均からの 偏差	-0.21	4 年間商品販売額(卸売・小売)	1,569億円 (H27)	↑	1,472億円 (R2)	1,472億円 (R2)	1,472億円 (R2)	2,000億円
満足度順位	23/25位	5 市内民営事業所従業員数	39,678人 (H28)	↑	39,678人 (H28)	41,031人 (R3)	41,031人 (R3)	42,000人

《前期基本計画》

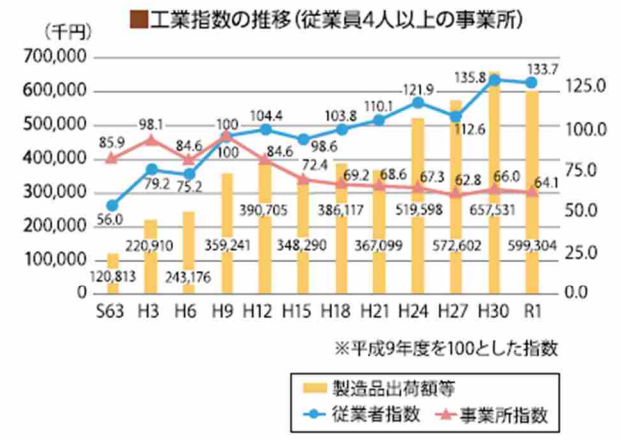
《後期基本計画(素案)》

"三田らしい"活力と交流のあるまち ~にぎわいづくり~
15 商工業の振興

1. 10年後に目指したい将来像

恵まれた自然環境と整備された都市基盤をはじめ、交通の要衝としての立地的優位性をもつ三田の強みを活かし、多様な人材の育成・活躍支援、地域資源を活かしたイノベーション^{*}の推進、魅力ある拠点機能の充実を図ることで地域経済の好循環が創出され、自律的な経済発展のもと創造性のある「生活・産業都市」が形成されています。

2. 10年後に心配される三田の状況	3. 10年後に目指したい三田の状況	取り組み
A 就職等を契機とした若年層の市外転出等により、地域経済の維持増進が困難となっていること	若年層をはじめ知識や経験豊富な元気なシニア世代等を含め、多様な人材が市内の経済活動の一翼を担い活躍していること	① ⑥
B 工場等の撤退に伴う雇用の縮小や税収の落ち込みにより、地域経済やまちづくりが停滞していること	工場等の操業継続や新たな企業立地により、地域経済の活発化とまちづくりの推進が図られていること	② ⑥
C 時代の変化に応じた商品やサービスの提供ができず、需要が縮小するなど、従来の経営手法では事業継続が困難となっていること	社会のニーズを見据えた経営により、需要のある商品やサービスが提供され、事業継続や、事業承継が行われていること	③ ⑥
D 空き店舗の増加等により商店街等が衰退し、まちの活気が失われていること	商業活動が活発に行われ、にぎわいと活気ある商業集積が形成されていること	④ ⑤



※イノベーション
 新しいアイデアから社会的意義のある新たな価値を創造し、社会的に大きな変化をもたらす自発的な人・組織・社会の幅広い変革。全く新しい技術や考え方を取り入れて新たな価値を生み出して社会的に大きな変化を起こすことをいう。

※ソーシャルビジネス 65ページ参照

※交通結節点 42ページ参照

※サテライトオフィス 65ページ参照

※インキュベーション
 事業の創出や創業を支援するサービス・活動のことをいう。もともとは、卵をかえす「孵化」という意味である。

※コワーキング
 事業所スペース、会議室、打ち合わせスペース等を共有しながら独立した仕事を行う共同ワークスタイルのことをいう。

※シェアオフィス
 複数の企業や個人が共有して使うオフィスのことをいう。

"三田らしい"活力と交流のあるまち ~にぎわいづくり~
【15】 商工業の振興

1 10年後に目指したい将来像

恵まれた自然環境と整備された都市基盤をはじめ、交通の要衝としての立地的優位性をもつ三田の強みを活かし、多様な人材の育成・活躍支援、地域資源を活かしたイノベーションの推進、魅力ある拠点機能の充実を図ることで地域経済の好循環が創出され、自律的な経済発展のもと創造性のある「生活・産業都市」が形成されています。

2 10年後に心配される三田の状況	3 10年後に目指したい三田の状況	取り組み	指標
A 就職等を契機とした若年層の市外転出や高齢者の就業先の不足等により、地域経済の維持増進が困難となっていること	若年層をはじめ知識や経験豊富な女性、元気なシニア世代等を含め、多様な人材が市内の経済活動の一翼を担い活躍していること	① ⑥	a, b, f
B 社会経済情勢の影響や工場等の撤退に伴う雇用の縮小や税収の落ち込みにより、地域経済やまちづくりが停滞していること	工場等の安定的な操業や新たな設備投資等により、地域経済の活発化とまちづくりの推進が図られていること	② ⑥	c, d
C 時代の変化に応じた商品やサービスの提供ができず、需要が縮小するなど、従来の経営手法では事業継続が困難となっていること	社会のニーズを見据えた経営により、需要のある商品やサービスが提供され、事業継続や事業承継が行われていること	③ ⑥	d, e
D 空き店舗の増加等により商店街等が衰退し、まちの活気が失われていること	商業活動が活発に行われ、賑わいと活気ある商業集積が形成されていること	④ ⑤	a, d, e

《前期基本計画》

《後期基本計画(素案)》

4. 取り組み

▶ 市民

- ◆職業能力を高める講座や就職面談等の機会を積極的に活用し市内企業等への就業を目指します。
- ◆商品やサービスを市内で購入するように心がけます。

▶ 事業者・団体等

- ◆高齢者や障害者、外国人を含めた市民の就業の機会を提供します。
- ◆働き方改革を推進し働きやすい職場環境づくりを行います。
- ◆時代の変化や市場動向に対応した商品販売や製品製造ができるよう経営基盤の強化を図ります。

▶ 市

① 地域イノベーションの創出

高齢化、子育て、空き店舗等の社会的課題解決に向けたソーシャルビジネス[※]等に取り組む起業家の発掘・育成や異業種連携の交流を深めることで、新たな商品やサービスを生み出す機会を提供し、新産業の流入や既存産業の拡大を通じた地域産業の高付加価値化を目指した地域イノベーションの創出を図ります。

② 新たな産業拠点の整備促進

産業構造の革新的な変化等を見据え、都市近郊に位置し近畿圏等の広域的経済活動を支える交通結節点[※]等の本市の強みを活かし、先端技術を活用したモノづくり等の集積拠点、北摂三田第三テクノパーク整備の検討を進めるとともに、ICT企業等の立地誘導に向けたサテライトオフィス[※]等の環境を整備するなどスマートシティの実現を目指します。

③ 地域を牽引する産業の活性化

競争力のある技術保有や経営革新を図るなど、地域産業を牽引する事業者の新産業・新分野の展開につながる取り組みを促進し、市内事業者の経営安定化と育成を図るため、金融機関と連携した円滑な資金調達を支援するとともに、産業フェア等への出展による広域的なセールスを推進し、販路拡大や販売促進につなげていきます。

④ 新たな魅力とにぎわいの創出

市街地再開発事業による都市機能の集積を推進し、三田駅周辺の来訪者の拡大等を主体的・先進的に取り組むエリアマネジメントの組織化を図り、まちなかの回遊性向上等にぎわいのある空間形成を目指します。農商工連携による食を通じた新たな魅力を創出するため、独自の食文化の発掘やブランド化を推進し多様な活動を発信します。

⑤ インキュベーション[※]機能のネットワーク化

商工会や大学その他関係機関との連携体制を構築し、コワーキング[※]スペースやシェアオフィス[※]等のにぎわいの場や新産業の創出、産学官の協働の拠点となるインキュベーション機能のネットワーク化を図り、ポテンシャルの向上や魅力を創出することで、多様な人材が繋がり、学び、成長する環境と文化を育みます。

⑥ 次代の産業人材の確保

学生等へ市内事業所の魅力を発信し、若年人材確保を推進するとともに、女性、高齢者、外国人等が社会参画を果たしていけるようハローワーク等と連携し、多様な雇用形態による就労を支援していきます。商工会等と連携し、セミナーや相談会を開催するなど、世代間交流による技術・技能の継承や円滑な事業承継の取り組みを支援します。

5. 成果指標等

指標名	基準値	基準年	目標値 (R8)
起業相談等支援を行った者のうち創業した件数	72件	(R2)	160件
市内民営事業所数	2,730事務所	(H28)	3,000事務所
製造品出荷額等(4人以上の事業所)	5,993億円	(R元)	7,200億円
年間商品販売額(卸売・小売)	1,569億円	(H27)	2,000億円
市内民営事業所従業員数	39,678人	(H28)	42,000人

■主要な条例・規則及び関連計画

条例・規則	三田市企業立地促進条例
関連計画	三田市産業創造戦略、三田市創業支援等事業計画

4 取り組み

市民

- ◆職業能力を高める講座や就職面談等の機会を積極的に活用し市内企業等への就業を目指します。
- ◆インキュベーション施設等の起業支援を活用し市内での起業を目指します。
- ◆商品やサービスを市内で購入するように心がけます。

事業者・団体等

- ◆高齢者や障害者、外国人を含めた市民の就業の機会を提供します。
- ◆働き方改革を推進し、多様な働き方を可能にする働きやすい職場環境づくりを行います。
- ◆時代の変化や市場動向に対応した商品販売や製品製造ができるよう、先端技術の導入や経営基盤の強化を図ります。

市

① 立地企業・事業所との情報交換と課題解決

市内企業・事業所との対話を通じて、相互の課題を共有しながら、人材確保や働きやすい職場環境の整備に取り組むと共に、市内在住の従業員を増加させる取り組みを推進します。また、ハローワーク等との連携を活用し、多様な雇用形態による就労促進や起業支援をしていきます。さらに、商工会等と連携し、セミナーや相談会の開催などを通じて、世代間交流による技術・技能の継承を促進し、円滑な事業承継の取り組みを支援します。

② 新たな産業拠点の整備促進及び誘致促進

産業構造の革新的な変化等を見据え、都市近郊に位置し近畿圏等の広域的経済活動を支える交通結節点[※]等の本市の強みを活かし、先端技術を活用したモノづくり等の集積拠点として、産業団地の整備手法、候補地なども含め再点検を行い、将来の整備方針等を定めるとともに、企業等の立地誘導に向けた取り組みを推進します。

③ 地域イノベーションの創出

高齢化、子育て、空き店舗等の社会的課題解決に向けたソーシャルビジネス等に取り組む起業家の発掘・育成・支援や異業種連携の交流を深めることで、新たな商品やサービスを生み出す機会を提供し、新産業の流入や既存産業の拡大を通じた地域産業の高付加価値化を目指した地域イノベーションの創出を図ります。

④ 地域を牽引する産業の活性化

競争力のある技術保有や経営革新を図るなど、地域産業を牽引する事業者の新産業・新分野の展開につながる取り組みを促進し、市内事業者の経営安定化と育成を図るため、金融機関と連携した円滑な資金調達を支援するとともに、産業フェア等への出展による広域的なセールスを推進し、販路拡大や販売促進につなげていきます。

⑤ たな魅力とにぎわいの創出

市街地再開発事業による都市機能の集積を推進し、三田駅周辺の来訪者の拡大等を主体的・先進的に取り組むエリアマネジメントの組織化を図り、まちなかの回遊性向上等賑わいのある空間形成・商店街等の活性化を目指します。農商工連携による食を通じた新たな魅力を創出するため、独自の食文化の発掘やブランド化を推進し多様な活動を発信します。

⑥ インキュベーション機能のネットワーク化

商工会や大学その他関係機関との連携体制を構築し、コワーキングスペースやシェアオフィス等の賑わいの場や新産業の創出、産学官の協働の拠点となる市内のインキュベーション施設との連携、ネットワーク化を図り、ポテンシャルの向上や魅力を創出することで、多様な人材が繋がり、学び、成長する環境と文化を育みます。

◆評価指標

	指標名	現状値 (基準年)	目標値 (R13)
—	KGI 施策重要度・施策満足度	重要度：3.85pt 満足度：2.87pt	↑
a	KPI 起業相談等支援を行った者のうち創業した件数	133件(R6)	230件
b	KPI 起業家の女性の割合	30.8%(R6)	50%
c	KPI 製造品出荷額等	5,351億円 (R2)	6,500億円
d	KPI 市内民営事業所数	2,651事業所(R3)	3,000事業所
e	KPI 年間商品販売額(卸売・小売)	1,472億円(R3)	2,000億円
f	KPI 北摂三田テクノパークにおける市民雇用者割合	46.9% (R7.1)	50%

◆主要な条例・規則及び関連計画

条例・規則	三田市企業立地促進条例
関連計画	三田市産業創造戦略、三田市創業支援等事業計画

	KGI（成果指標）	KPI（活動指標・取組指標）		現状値	目標値 (13)	指標の設定理由	所管課
15 商工業の振興	・施策重要度 ・施策満足度	—	新規	重要度 3.85pt 満足度 2.87pt	向上	全施策固定指標	—
		起業相談等支援を行った者のうち創業した件数	継続	133件 (R6)	230件	創業支援機関と連携し、創業希望者を検討段階から創業後のフォローアップまでサポートしている。また、若い世代への意識醸成を図るためキャリアデザインアカデミーを展開していることから、相談支援から創業した件数を指標とする。	産業政策課
		創業者の女性の割合	新規	30.8% (R6)	50%	市内の女性の就業率（R2）は45.8%であり、全国、兵庫県と比較しても下回っている状況である。 しかし、R7年度に実施した女性起業家交流イベントには定員を超える申し込みがあり、また、全国商工会青年部連合会の大会において女性部員新規加入数が1位となるなど女性活躍の気運が高まっており、起業家支援事業への女性参加状況からも潜在的な人材のポテンシャルは高いと考えられる。また、日本おち政策金融公庫の実施した2024新規開業実態調査からも開業者に占める女性の割合は25.5%と1991年の調査開始以来最も高くなっている。 ついては、起業を志す女性の後押しをすることにより創業者の女性比率を高め、まちの活性化を計ることにつながることから創業者の女性割合を指標とする。	産業政策課
		製造品出荷額等	継続	5,351億円 (R2)	6,500億円	5年毎（直近：令和2年）に実施する経済センサス調査で定期的にデータを取得できることから、過去の増加分から目標値を設定。工業分野における経済動向の指標とする。	産業政策課
		市内民営事業所数	継続	2,651事業所 (R3)	3,000事業所	出荷額・事業所数を増やすためには先端技術等導入等への支援策に加え、BtoBの取り組みなど地域内循環できる仕掛けが必要である。 5年毎（直近：令和3年）に実施する経済センサス調査で定期的にデータを取得できることから、過去の増加分から目標値を設定。	産業政策課
		年間商品販売額（卸売・小売）	継続	1,472億円 (R3)	2,000億円	5年毎（直近：令和3年）に実施する経済センサス調査で定期的にデータを取得できることから、過去の増加分から目標値を設定。卸売業及び小売業における経済動向の指標とする。	産業政策課
		北摂三田テクノパークにおける市民雇用者割合	新規	46.9% (R7.1)	50%	毎年、定期的にテクノパークの雇用状況を確認しており、一定規模の母数のある工業団地（北摂三田テクノパーク）での市民雇用割合を指標とする。	産業政策課